

【報告事項】

令和7年度胃がん検診（胃内視鏡検査・胃部エックス線検査）及び
胃がんリスク検診（胃の健康度検査）の実績について

1. 胃がん検診受診状況【胃部エックス線検査＋胃内視鏡検査】

(1) 経年変化 (令和8年8月4日時点)

	R3	R4	R5	R6	R7
対象者数	111,709	108,883	99,001	101,484	103,837
受診者数	1,981	2,379	2,118	2,129	2,270
胃部エックス線検査	1,308	1,336	770	367	381
胃内視鏡検査	673	1,043	1,348	1,762	1,889
受診率	2.1%※1	2.8%※1	3.1%※1	4.1%※2	4.2%※2
要精密検査者数	144	172	149	110	101
要精検率	7.3%	7.2%	7.0%	5.2%	4.4%
精検受診者数	131	169	147	110	98
精検受診率	91.0%	98.3%	98.7%	100.0%	97.0%
がん発見数	8	5	4	3	2
がん発見率	0.40%	0.21%	0.19%	0.14%	0.09%
陽性反応的中度	5.56%	2.90%	2.68%	2.73%	1.98%

<算出方法>

※1 R3～R5：受診率＝（「前年度の内視鏡受診者数」＋「当該年度の内視鏡・エックス線受診者」－「連続受診者」）／（当該年度の対象者数）

※2 R6～：受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）

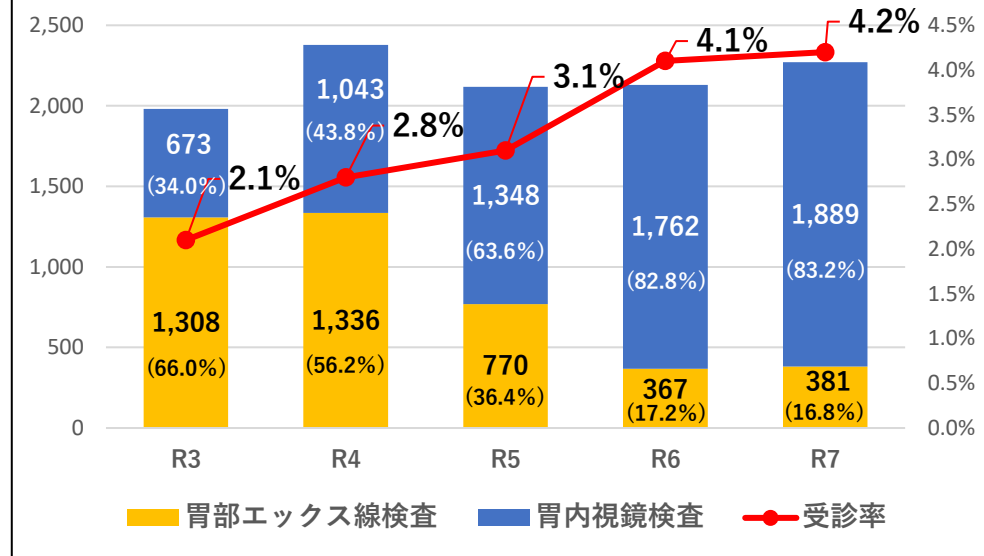
・胃部エックス線検査の対象者について

令和4年度まで：40歳以上の毎年実施

令和5年度のみ：50歳以上の隔年実施だが、移行期間として
前年度受診者と奇数年齢者も受診可能

令和6年度から：50歳以上の隔年実施

(2) 受診者数・受診率の推移



令和6年度以降、受診者のうち胃内視鏡検査受診者が80%以上を占める。

受診率の推移

受診率は年々上がっているが、本市計画における目標値を下回っている。
【大津市第2期がん対策推進基本計画：目標値8.5%】

1. 令和7年度胃がん検診 年代別受診状況【胃部エックス線検査＋胃内視鏡検査】

(令和8年8月4日時点)

	総数			50歳代			60歳代			70歳代			80歳以上		
	計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
対象者数	103,837	41,328	62,509	18,146	7,546	10,600	19,752	7,343	12,409	34,699	14,793	19,906	31,240	11,646	19,594
受診者数	2,270	984	1,286	462	151	311	998	397	601	675	359	316	135	77	58
初回受診者数	1,437	611	826	337	118	219	678	280	398	340	175	165	82	38	44
初回受診割合	63.3%	62.1%	64.2%	72.9%	78.1%	70.4%	67.9%	70.5%	66.2%	50.4%	48.7%	52.2%	60.7%	49.4%	75.9%
受診率	4.2%	4.5%	3.9%	4.7%	3.6%	5.4%	9.7%	10.6%	9.2%	4.0%	4.9%	3.2%	0.8%	1.2%	0.6%
要精密検査者数	101	52	49	21	12	9	40	16	24	33	19	14	7	5	2
要精検率	4.4%	5.7%	4.0%	4.5%	7.9%	2.9%	4.0%	4.0%	4.0%	4.9%	5.3%	4.4%	5.2%	6.5%	3.4%
精検受診者数	98	49	49	21	12	9	40	16	24	30	16	14	7	5	2
精検受診率	97.0%	94.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	84.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
がん発見数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0
がん発見率	0.09%	0.11%	0.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.15%	0.00%	0.32%	0.74%	1.30%	0.00%
陽性反応的中度	1.98%	1.92%	2.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.03%	0.00%	7.14%	14.29%	20.00%	0.00%

【参考】令和5年度本市における胃がんによる死亡者数

令和6年度大津市保健所年報より

	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	総計
総数	2	0	0	1	2	2	2	18	22	39	88
男	2	0	0	1	1	1	2	11	16	25	59
女	0	0	0	0	1	1	0	7	6	14	29

- ・年代別受診者数・受診率は、男性・女性ともに60歳代が最も高い。
- ・がん発見数は2人、ともに70歳以降である。
- ・検診対象年齢における胃がん死亡者数は86人、そのうち、70歳未満は7人（8.1%）、70歳以上は79人（91.9%）である。

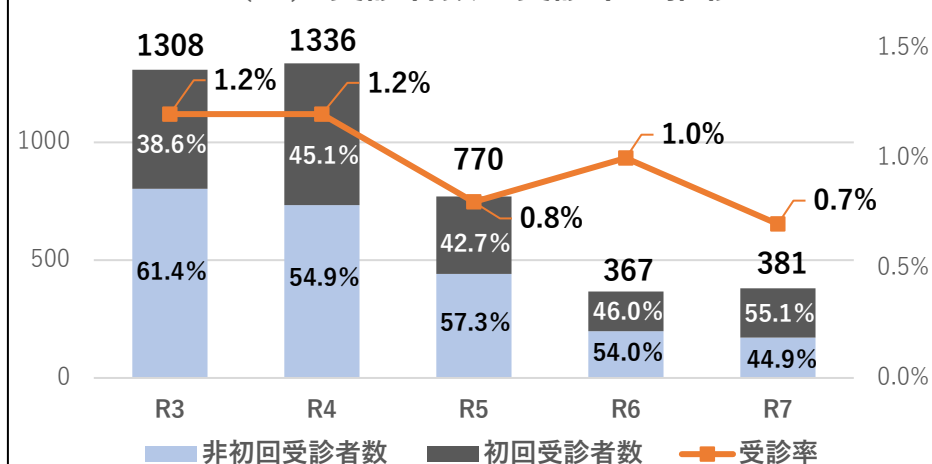
2. 胃部エックス線検査受診状況

(1) 経年変化 (令和8年8月4日時点)

	R3	R4	R5	R6	R7	国 (R4)
対象者数	111,709	108,883	99,001	101,484	103,837	
受診者数	1,308	1,336	770	367	381	
初回受診者数	505	602	329	169	210	
初回受診者割合	38.6%	45.1%	42.7%	46.0%	55.1%	
受診率	1.2%	1.2%	0.8%	1.0%	0.7%	6.9%
要精密検査者数	80	95	54	11	16	121,152
要精検率	6.1%	7.1%	7.0%	3.0%	4.2%	5.8%
精検受診者数	73	92	52	11	14	
精検受診率	91.3%	96.8%	96.3%	100.0%	87.5%	81.8%
がん発見数	2	1	0	0	0	
がん発見率	0.15%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.12%
陽性反応的中度	2.50%	1.05%	0.00%	0.00%	0.00%	2.0%

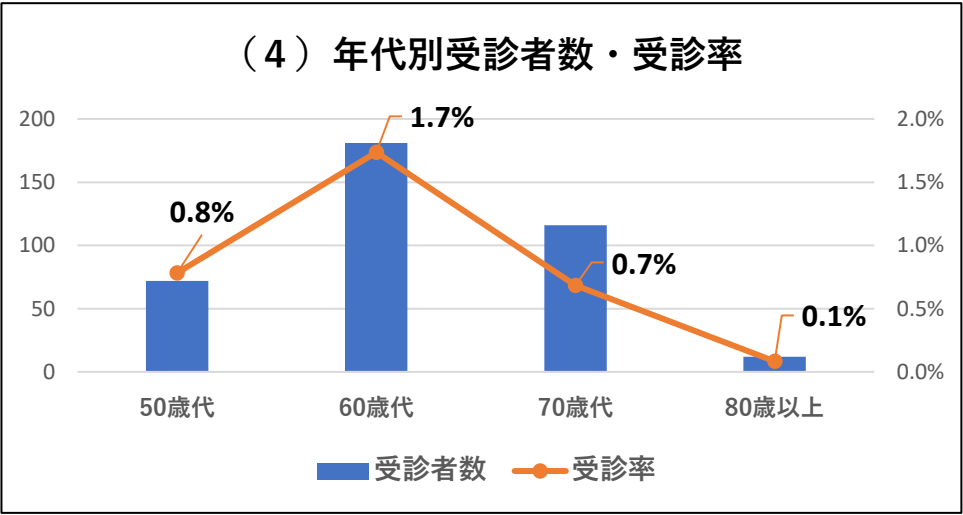
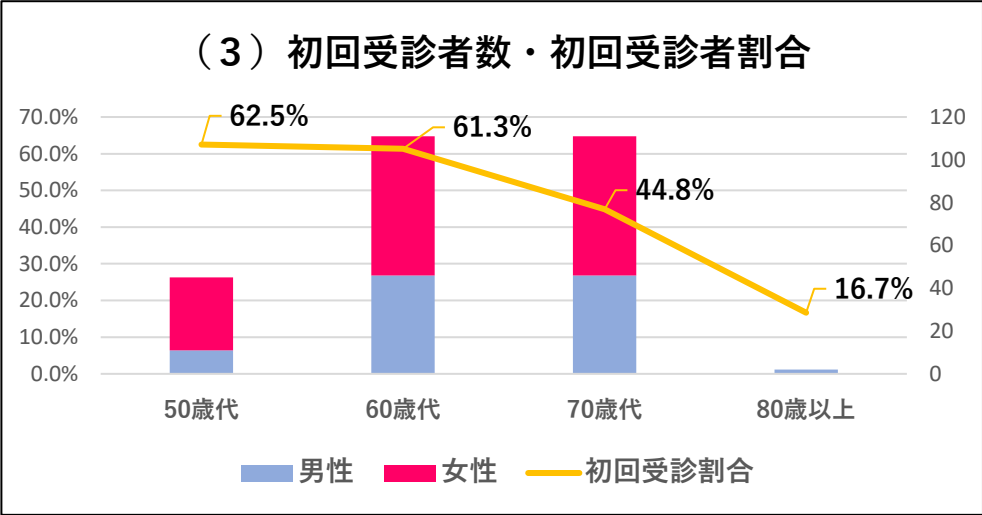
精検受診状況：
未受診者1人、未把握者1人
未把握者については現在調査中
90%以上となる見込み

(2) 受診者数・受診率の推移



2. 令和7年度胃部エックス線検査 年代別受診状況 (令和8年8月4日時点)

	総数			50歳代			60歳代			70歳代			80歳以上		
	計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
対象者数	103,837	41,328	62,509	18,146	7,546	10,600	19,752	7,343	12,409	34,699	14,793	19,906	31,240	11,646	19,594
受診者数	381	157	224	72	16	56	181	77	104	116	56	60	12	8	4
初回受診者数	210	79	131	45	11	34	111	46	65	52	20	32	2	2	0
初回受診者割合	55.1%	50.3%	58.5%	62.5%	68.8%	60.7%	61.3%	59.7%	62.5%	44.8%	35.7%	53.3%	16.7%	25.0%	0.0%
受診率	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%	0.4%	1.0%	1.7%	2.1%	1.5%	0.7%	0.9%	0.5%	0.1%	0.1%	0.1%
要精密検査者数	16	4	12	2	0	2	9	1	8	5	3	2	0	0	0
要精検率	4.2%	2.5%	5.4%	2.8%	0.0%	3.6%	5.0%	1.3%	7.7%	4.3%	5.4%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
精検受診者数	14	2	12	2	0	2	9	1	8	3	1	2	0	0	0
精検受診率	87.5%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



初回受診者割合、年代別受診者数・受診率

- ・ 初回受診者割合は全体で55.1%。受診対象の開始年齢である50歳代が最も高いが、60歳以降も高い水準で推移している。
→ 継続受診ではなく、新たな受診においても胃部エックス線検査を選択される方もいる。
- ・ 年代別受診率は60歳代が最も高い。

2. 令和7年度胃部エックス線検査 年代別受診状況（令和8年8月4日時点）

	総数			再掲）50～69歳			プロセス指標
	計	男	女	小計	男	女	
受診者数	381	157	224	253	93	160	
初回受診者数	210	79	131	156	57	99	
初回受診者割合	55.1%	50.3%	58.5%	61.7%	61.3%	61.9%	
受診率	0.7%	0.8%	0.7%	1.3%	1.3%	1.3%	
要精密検査者数	16	4	12	11	1	10	
要精検率	4.2%	2.5%	5.4%	4.3%	1.1%	6.3%	（基準値）7.1%以下
精検受診者数	14	2	12	11	1	10	
精検受診率	87.5%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	（基準値）90%以上

要精検率・精検受診率

・要精検率、精検受診率は、ともにプロセス指標における国の基準値を満たしている。

初回受診者割合

・国が特にがん検診を推奨する50～69歳において、初回受診者割合は全体の初回受診者割合55.1%を上回る。
→50歳代以降でも初回受診となっている者が多く、早期からの受診・継続受診ができていないと考えられる。

3. 胃内視鏡検査受診状況

(1) 経年変化 (令和8年8月4日時点)

	R3	R4	R5	R6	R7	国（R4）	
対象者数	111,709	108,883	99,001	101,484	103,837		
受診者数	673	1,043	1,348	1,762	1,889		
初回受診者数	485	784	964	1,253	1,227		
初回受診者割合	72.1%	75.2%	71.5%	71.1%	65.0%		
受診率	0.9%	1.5%	2.4%	3.0%	3.5%	6.9%	
総合判定	精密検査不要	646	909	1,188	1,649	1,772	
	ピロリ菌感染性胃炎	-	44	45	59	66	
	要治療・要受診（胃がん以外）	15	16	31	35	42	
	要精密検査	12	74	84	19	9	
要精密検査 （法定報告より）	当日生検	58	77	94	93	82	
	生検未実施・要精検	6	0	1	6	3	
	合計	64	77	95	99	85	81,804
生検実施率	8.6%	7.4%	7.0%	5.3%	4.3%		
要精検率	9.5%	7.4%	7.0%	5.6%	4.5%	6.9%	
精検受診者数	58	77	95	99	84	331	
精検受診率	90.6%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	97.4%	
がん発見数	6	4	4	3	2		
がん発見率	0.89%	0.38%	0.30%	0.17%	0.11%	0.35%	
陽性反応の中度	9.38%	5.19%	4.21%	3.03%	2.35%	5.0%	

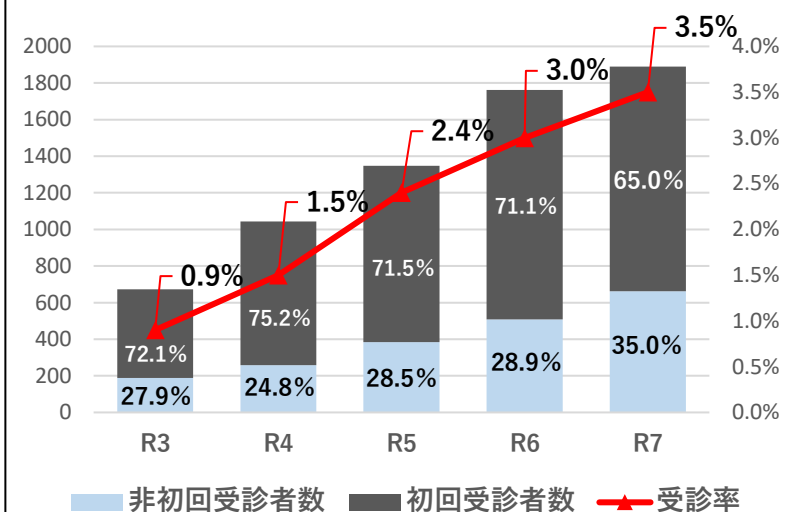
受診者数・受診率・初回受診者割合

- ・受診者数・受診率は年々増加。令和7年度の受診者数は前年度比1.07倍。
- ・平成30年に開始しているが、初回受診者割合は65%～75%と高い水準で推移している。
→胃内視鏡検診は定着しつつあるが、継続受診につながっていない者が多いと考えられる。

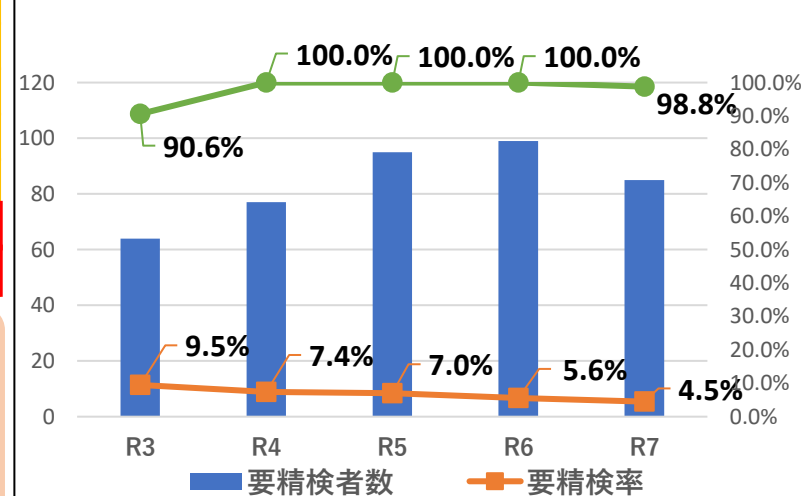
要精検率・精検受診率

- ・未把握者について現在調査中。例年、調査時期は95%以上で推移しており、令和7年度も100.0%となる見込みである。

(2) 受診者数・受診率の推移



(3) 要精検者数・要精検率・精検受診率の推移



3. 令和7年度胃内視鏡検査 年代別受診状況（令和8年8月4日時点）

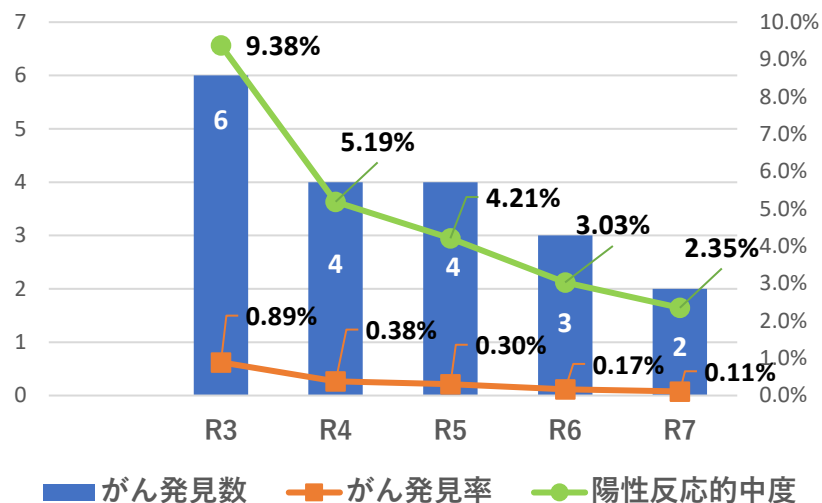
		総数			50歳代			60歳代			70歳代			80歳以上			再掲）50～69歳		
		計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
受診者数		1,889	827	1,062	390	135	255	817	320	497	559	303	256	123	69	54	1,207	455	752
	初回受診者数	1,227	532	695	292	107	185	567	234	333	288	155	133	80	36	44	859	341	518
	初回受診者割合	65.0%	64.3%	65.4%	74.9%	79.3%	72.5%	69.4%	73.1%	67.0%	51.5%	51.2%	52.0%	65.0%	52.2%	81.5%	71.2%	74.9%	68.9%
受診率		3.5%	3.8%	3.3%	3.9%	3.2%	4.4%	8.0%	8.5%	7.7%	3.3%	4.1%	2.7%	0.8%	1.1%	0.6%	6.0%	5.8%	6.2%
総合判定	精密検査不要	1,772	766	1,006	368	125	243	774	300	474	518	276	242	112	65	47	1,142	425	717
	ピロリ菌感染性胃炎	66	27	39	14	5	9	25	8	17	21	12	9	6	2	4	39	13	26
	要治療・要受診（胃がん以外）	42	29	13	7	5	2	16	11	5	16	12	4	3	1	2	23	16	7
	要精密検査	9	5	4	1	0	1	2	1	1	4	3	1	2	1	1	3	1	2
要精密検査 （法定報告より）	当日生検	82	47	35	18	12	6	30	15	15	27	15	12	7	5	2	48	27	21
	生検未実施・要精検	3	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	2
	合計	85	48	37	19	12	7	31	15	16	28	16	12	7	5	2	50	27	23
生検実施率		4.3%	5.7%	3.3%	4.6%	8.9%	2.4%	3.7%	4.7%	3.0%	4.8%	5.0%	4.7%	5.7%	7.2%	3.7%	4.0%	5.9%	2.8%
要精検率		4.5%	4.9%	8.9%	2.7%	3.8%	4.7%	3.8%	4.7%	3.2%	5.0%	5.3%	4.7%	5.7%	7.2%	3.7%	4.1%	5.9%	3.1%
精検受診者数		84	47	37	19	12	7	31	15	16	27	15	12	7	5	2	50	27	23
精検受診率		98.8%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
がん発見数		2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0
がん発見率		0.11%	0.12%	0.09%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.18%	0.00%	0.39%	0.81%	1.45%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
陽性反応的中度		2.35%	2.08%	2.70%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.57%	0.00%	8.33%	14.3%	20.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

（4）がん発見症例について ※胃がん・胃がん疑いで他院紹介等のケースについては調査中

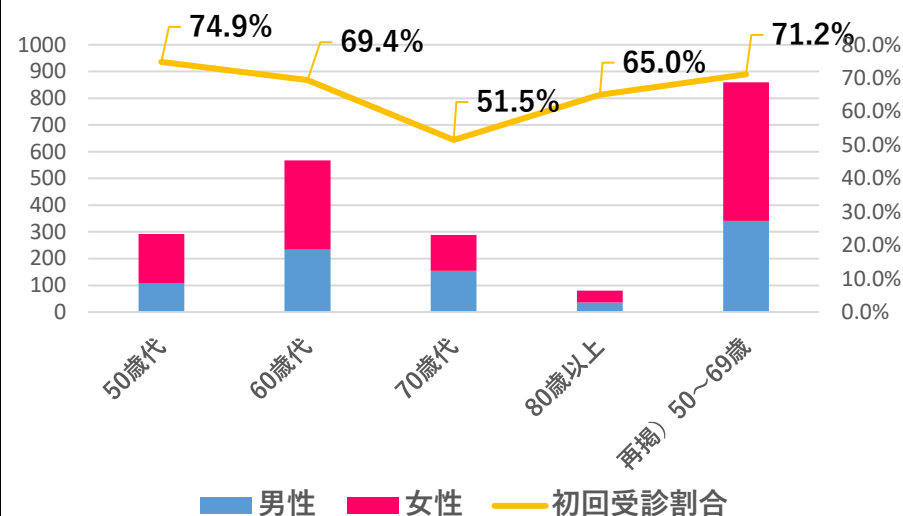
	年度年齢	性別	ピロリ菌感染状況	所見部位		肉眼分類	総合判定	前回受診及び判定結果
ケース1	80歳	男	H.pylori感染（既）	体下部	小弯	Ⅱ a	早期胃がん（粘膜内がん）	令和5年度（2年前） ピロリ菌感染性胃炎の疑い
ケース2	74歳	女	H.pylori感染（既）	胃角部	小弯	Ⅲ + Ⅱ c	進行がん（壁深達度M P 以上）	令和3年度（4年前） 精密検査不要

3. 令和7年度胃内視鏡検査 年代別受診状況（令和8年8月4日時点）

（5）がん発見数・がん発見率・陽性反応的中度の推移



（6）初回受診者数・初回受診者割合



がん発見数・がん発見率・陽性反応的中度

・受診者数・受診率は増加しているが、がん発見数・がん発見率・陽性反応的中度は年々減少している。

初回受診者数・初回受診者割合について

・初回受診者割合は、受診対象の開始年齢である50歳代が最も高いが、60歳代以降においても高い水準で推移している。

→胃部エックス線検査と同様、胃がん検診受診後の継続受診につながっていない者が多いと考えられる。

継続受診の必要性について、市及び検診実施機関からも積極的に周知していくことが必要。

3. 令和7年度胃内視鏡検査（令和8年8月4日時点）

（7）偶発症の報告

	年度年齢	性別	抗血栓剤服用の有無	偶発症の種類	部位	重症度	転帰
ケース1	56歳	女	なし	鼻出血	鼻腔	軽症	帰宅（検査施設対応）
ケース2	62歳	女	なし	鼻出血	鼻腔	軽症	帰宅（検査施設対応）
ケース3	52歳	男	なし	鼻出血	鼻腔	軽症	帰宅（検査施設対応）
ケース4※	56歳	男	なし	その他	食道	軽症	帰宅（検査施設対応）

※他院通院中の方で、内視鏡で逆流性食道炎を認めたが検査医の判断で検診を実施。抜去時に逆流性食道炎のびらん部より流出性出血を認めた。止血確認後、検査終了。

（8）指針に基づかない生検の実施

	年度年齢	性別	生検部位	一次検診機関	偶発症の有無
ケース1	78歳	女	十二指腸	A病院	なし
ケース2	52歳	男	十二指腸球部	B病院	なし

（9）二次読影医による生検の妥当性評価において不要と判断された生検

	年度年齢	性別	生検部位	一次検診機関	一次所見	一次検査医コメント	二次所見（胃がん以外）	二次読影医からのコメント	総合判定
ケース1	72歳	男	体中部後壁	C診療所	逆流性食道炎	-	逆流性食道炎	-	要治療・要受診（胃がん以外）
ケース2	56歳	男	食道	D診療所	びらん性胃炎	-	-	食道粘膜の萎縮疑い	精密検査不要
ケース3	62歳	男	前庭部大弯	E診療所	胃粘膜下腫瘍 逆流性食道炎	SMTに対して生検Group1でSMT成分認めませんでした	胃粘膜下腫瘍 逆流性食道炎 十二指腸ポリープ？	SMTについてはS/O上皮性のものとする場合のみ生検を。SMTと診断できるものは超音波内視鏡やポーリング生検を含め2次医療機関でお願い。	精密検査不要
ケース4	68歳	女	不明	F病院	慢性活動性胃炎疑い（病理組織検査報告書より）	シドニー生検	バレット食道	-	ピロリ菌感染性胃炎の疑い

4. 胃がんリスク検診受診状況

(1) 経年変化 (令和8年8月4日時点)

		R3	R4	R5	R6	R7
受診者数		1,073	181	130	112	179
検査結果	A群	872	154	105	88	147
	B群	145	14	17	17	27
	C群	56	13	8	7	5
要精検者数		201	27	25	24	32
要精検率		18.7%	14.9%	19.2%	21.4%	17.9%
精検受診者数		174	27	25	22	29
精検受診率		86.6%	100.0%	100.0%	91.7%	90.6%
がん発見数		1	0	0	0	0
ピロリ菌除菌者数		123	18	18	12	16

・胃がんリスク検診は、平成24年から開始し、令和4年度から3巡目となる。

(2) 令和7年度胃がんリスク検診 年代別受診状況 (令和8年8月4日時点)

		総計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～60歳
受診者数		179	28	16	62	73
検査結果	A群	147	22	15	48	62
	B群	27	5	1	11	10
	C群	5	1	0	3	1
要精検者数		32	6	1	14	11
要精検率		17.9%	21.4%	6.3%	22.6%	15.1%
精検受診者数		29	5	1	14	9
精検受診率		90.6%	83.3%	100.0%	100.0%	81.8%
がん発見数		0	0	0	0	0
ピロリ菌除菌者数		16	4	0	10	2

・年代別受診状況において、胃がん検診対象者である50歳以降は135人（75.4%）、40歳代は44人（24.6%）
→胃がん検診対象年齢である50歳以降の受診者が多い。

令和 8 年度胃がん検診及び胃がんリスク検診実施体制について

検診		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
胃部エックス線 検査（集団）	対象年齢	40歳以上											50歳以上隔年（年度年齢偶数時）				
	実績	79日	80日	70日	70日	73日	74日	60日	57日	33日	49日	53日	35日	22日	13日	10日	
		108会場	110会場	79会場	89会場	92会場	86会場	72会場	70会場	41会場	57会場	61会場	43会場	33会場	21会場	18会場	
		滋賀県健康づくり財団										医療法人 緑生会					
		2,856人	1,895人	1,644人	1,828人	2,491人	2,646人	1,569人	1,805人	1,069人	1,308人	1,336人	770人	367人	381人	-	
	検診								セット検診 （1日）	新型コロナ の影響によ り、開催日 数を削減		・土曜日開催 を開始 ・セット検診 （1日）	・移行期間と して、前年度 XP受診者及び 奇数年齢者も 受診可能 ・セット検診 （1日）	・対象者を、 50歳以上の偶 数年齢にする ・セット検診 （1日）	・特定健診と 同日に胃がん 検診を実施 （5回） ・セット検診 （1日）	・特定健診と 同日に胃がん 検診を実施 （8回） ・セット検診 （3日）	
胃内視鏡検査 （個別）	対象年齢							50歳以上隔年（年度年齢偶数時）									
	実績							49人	307人	414人	438人	673人	1,043人	1,348人	1,762人	1,889人	-
	対象者に 関する内容							H30年2月 開始	対象外者 （治療中・ 経過観察 中）に、ピ ロリ除菌 中・除菌後 も含むこと を明記		「ピロリ除 菌者」を対 象にする	「胃部分切除 後経過観察終 了者」を対象 にする		「抗血栓薬服 用者」を対象 にする	十二指腸病変 は、生検をし ない		
受診勧奨	方法											受診勧奨ハガキ（6月発送）に胃がん検診 及び胃がんリスク検診の案内を掲載					
	対象者											45.50.54. 60歳	50.54. 60.64歳	50.54. 60.64.68歳	50.52.54. 56.58.60. 64.68歳	50.52.54. 56.58.60. 64.68歳	
追加勧奨	方法													胃がん検診の追加勧奨ハガキ を送付（11月）		検討中	
	対象者													62,66歳の 胃がん検診未受診者		検討中	
胃がんリスク 検診	対象年齢	41.46.51.56.61歳（1巡目）					41.46.51.56.61歳（2巡目）					40～60歳（未受診者）					
	実績	2,902人	3,168人	3,580人	3,548人	2,452人	1,222人	1,584人	1,353人	1,365人	1,386人	181人	130人	112人	179人	-	
	事業内容	41歳全員と、46、51、56、61歳のリスク検診未受診者に受診券を送付										受診希望者の申請により、受診券を発行					
精度管理		H24～大津市消化器がん検診協議会															
							胃内視鏡 検査準備 専門部会	H30～大津市胃がん検診協議会									

受診率向上対策について

①令和7年度 受診勧奨はがき

大津市検診クイズ??

胃がんを早期に見てきた人のうち、5年後に生存している人の割合は?

① 30%未満
② 50%程度
③ 90%以上

答えはハガキの案内!

大津市がん検診のご案内

今年度50、52、54、56、58、60、64、68歳になるあなたへ

肺がん結核検診

- 検診内容: ①胸部エックス線検査、②喀痰細胞診※
- ※喫煙指数(1日喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人
- 実施場所: 実施機関
- 予約方法: 直接実施機関へ
- 検診手数料: ①800円(検診料約3,000円) ②1,000円(検診料約4,000円)

胃がんリスク検診 60歳以下が対象

※胃がんリスク検診は令和9年3月31日で終了します

- 受診回数: 一生に1回だけ
- 検診内容: 血液検査
- 実施場所: 実施機関
- 予約方法: 直接実施機関へ
- 持ち物: 受診券
- 検診手数料: 1,300円(検診料約5,000円)

大腸がん検診

- 検診内容: 便潜血検査(2日法)
- 実施場所: 実施機関
- 予約方法: 直接実施機関へ
- 検診手数料: 800円(検診料約3,000円)

胃がん検診 どちらかの検査を選択してください。

胃内視鏡検査

- 検診内容: 胃内視鏡検査(胃カメラ)
- 実施場所: 実施機関
- 予約方法: 直接実施機関へ
- 検診手数料: 4,000円(検診料約146,000円)

胃部エックス線検査

- 検診内容: バリウムによる胃部エックス線検査
- 実施場所: 検診車による集団検診(大津市内)
- 予約方法: ネット予約または健康推進課へ電話
- 検診手数料: 1,600円(検診料約7,200円)

大津市では、がん検診をはじめとしたさまざまな機能をメール配信サービスやLINEでお知らせしています。ぜひご登録ください。



ビワテクポイントが貯まる!



▶ OPEN POST CARD

検診の受診機会を提供するためのご案内ですが、諸事情により検診を受けられないなどでご不快に思われましたら、心よりお詫び申し上げます。

②令和7年度 がん検診案内ポスター

大腸がん検診

対象者 40歳以上の市民

受診間隔 1年度に1回(4月1日～翌年3月31日)

検査内容 便潜血検査(2日法)

検診手数料 800円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

肺がん結核検診

対象者 40歳以上の市民
(胸部エックス線検査のみ、65歳以上の市内居住者)

受診間隔 1年度に1回(4月1日～翌年3月31日)

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診(50歳以上で喫煙指数が600以上の方のみ)

検診手数料 胸部エックス線検査 800円(65歳以上と下記の方は無料)、喀痰細胞診 1,000円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

胃がん検診 (どちらかの検査を選択してください)

受診する年度の誕生日(4月2日～翌年4月1日)で50歳以上の偶数年齢の市民

対象者 50歳以上の偶数年齢の市民

受診間隔 2年度に1回

胃部エックス線検査

検査内容 バリウムによるエックス線検査

検診手数料 1,600円(下記の方は無料)

実施場所 市民センター等(検診車による集団検診)
※日程・申し込みは下記へお問い合わせください。

胃内視鏡検査

検査内容 胃内視鏡検査(胃カメラ検査)

検診手数料 4,000円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

胃がんリスク検診

対象者 40歳～60歳の市民

受診間隔 一生に1回
[クーポン券もしくは受診券が必要です。お持ちでない方は下記へご連絡下さい。]

検査内容 血液検査

検診手数料 1,300円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

肝炎ウイルス検診

対象者 40歳以上の市民

受診間隔 一生に1回
[クーポン券もしくは受診券が必要です。お持ちでない方は下記へご連絡下さい。]

検査内容 血液検査

検診手数料 1,000円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

胃がんリスク検診

対象者 40歳～60歳の市民

受診間隔 一生に1回
[受診券が必要です。お持ちでない方は下記へご連絡下さい。]

検査内容 血液検査

検診手数料 1,300円(下記の方は無料)

実施場所 実施機関

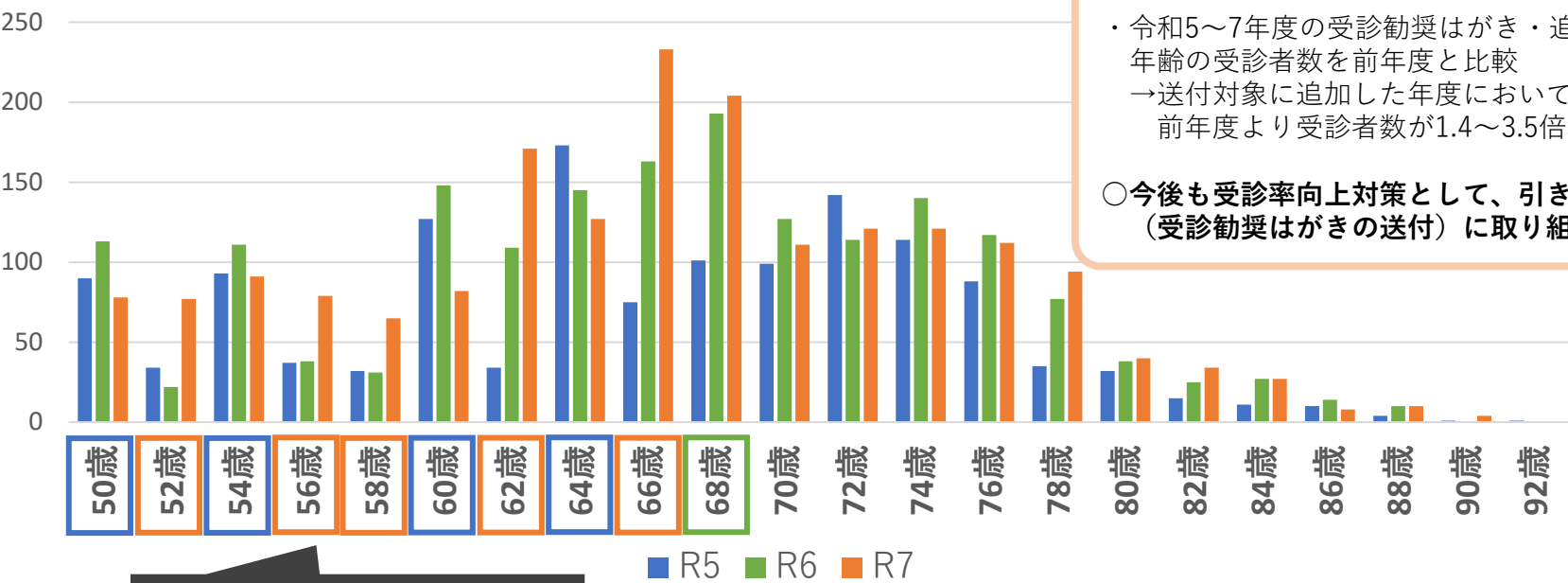
※各がん検診とも、現在治療中や経過観察中等の受診対象外の要件がございます。自覚症状のある方は速やかに医師の診察を受けてください。

◎無料クーポン券対象者、市民税非課税世帯に属する方、70歳以上の方、65～69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯に属する方等は検診手数料が無料です。
◎大津市国民健康保険加入者は助成がありますので検診手数料が無料です。
◎「肺がん結核検診」の胸部エックス線検査のみ、65歳以上の方は検診手数料が無料です。

問い合わせ先: 大津市保健所 健康推進課 ☎ 077-528-2748

受診率向上対策について（個別の受診勧奨と受診者数の変化）

胃内視鏡検査 年齢別受診者数の推移



受診率向上対策とその効果

- ・ 令和5～7年度の受診勧奨はがき・追加勧奨はがき送付対象年齢の受診者数を前年度と比較
→ 送付対象に追加した年度においては、いずれの年代も前年度より受診者数が1.4～3.5倍増加（34人～92人）
- 今後も受診率向上対策として、引き続き個別の受診勧奨等（受診勧奨はがきの送付）に取り組んでいく。

囲い部分□：
各年度における、受診勧奨はがき
送付対象の前年度からの追加分

- 令和5年度以前：6月に受診勧奨はがきを送付（50,54,60,64歳）
- 令和6年度：6月に受診勧奨はがきを送付（50,54,60,64,68歳）
- 令和7年度：6月に受診勧奨はがきを送付（50,52,54,56,58,60,64,68歳）
11月に追加勧奨はがきを送付（62,66歳の胃がん検診未受診者）
- 令和8年度：7月に受診勧奨はがきを送付（50,52,54,56,58,60,64,68歳）

受診勧奨はがき送付数

令和5年度	6月：19,402枚
令和6年度	6月：23,392枚
令和7年度	6月：38,786枚 11月：8,692枚
令和8年度	7月：39,182枚

※赤字：前年度より追加した送付対象年齢